学社連携・協働の動き　PART26

畑で育てよう！地域の輪

～大野中公民館と大野小学校～

夏の暑い日差しの下、色鮮やかなミニトマトやピーマン、片手では持てないくらい大きく育ったカボチャ、いろいろな種類の野菜が育ちました。

ここは、大野小学校（塚原　健　学校長）の敷地。プールの脇にあるちょっとしたスペースに、今年の夏、たくさんの野菜が実ったのです。この畑のお世話をしたのは、大野中公民館区内の地域住民の方と大野小学校の子どもたちです。

この活動が行われるようになったきっかけは、農作業を通じて「食」について考えるきっかけとしたい、農作業を通じて人と人とのふれあいを育てたいという願いからでした。大野中公民館では、地域づくりという視点から事業化し、実行委員会立ち上げ、用地の確保などの経緯を経て、実際の活動に進めることができました。

子どもたちには、学校を通じて参加を呼びかけ、多数の畑ボランティアが集まりました。

事業開始に当たって（目的の明確化）

- 地域の中で子どもも大人も育ちあう
- 地域の中で、人とのふれあいを育てる
- 助け合ってものを作ることの素晴らしさ、大変さの実感
- 命の大切さ、食の大切さ
- 環境保全

畑がない

使う畑が地域の中で確保できず、大野小学校に相談したところ快く承諾していただき、敷地の一部を開墾して使用することができるようになりました。

さあ、開墾！

堅い土、たくさんの石、耕すのは大変！

苗を植えよう！

早く大きくなあれ！
毎週金曜日の
昼休みが活動時間

活動を通して

子どもたちは、体験を通して地域の大人や他学年の児童とふれあい、協力することや自主的に活動すること、年少者へ配慮することなどを学ぶことができました。そして、みんなで大事に育てた野菜（産物）に感謝と喜びの気持ちをもつことができました。

大人にとっても人とのつながりを持つ機会になるとともに、子どもたちから活力を貰うことのできるよい機会になっています。

今度はイチゴをつくるぞ！

学校の協力を得て畑を更に拡充し、イチゴを育てることにしました。8 月下旬、子どもたちの保護者も一緒に参加し、汗びっしょりになって畑をつくりました。

平成 21 年度　学校と地域の連携協働事業　　本年度は以下の５地区に事業委託しています。

- ■ 沢井公民館区・佐野川公民館区（藤野北小学校）
- ■ 城山公民館区（川尻小学校）
- ■ 大野台公民館区（大野台中央小学校）
- ■ 桂北公民館区（内郷小学校）
- ■ 津久井地区（津久井中央小学校）
- ■ 相模台公民館区（双葉小学校）